

Pokémon GO と Ingress の 被災地観光に関する取組み

平成28年秋の年次公開検証

2016年11月11日

株式会社ナイアンティック
代表取締役社長 村井 説人

企業概要

- ナイアンティック社の理念は、Adventures on footで、自分で歩いて冒険しようというものです。
- 家の外に出て、自分の身の回りにある世界を広げてもらう、そして世界の素晴らしさに気づき、人が現実世界でつながるきっかけをつくることを目指しています。

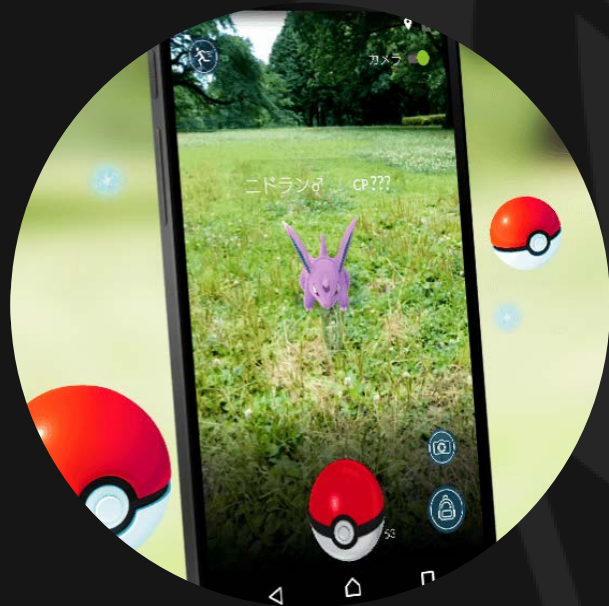
Pokémon GO

Pokémon GO は、実際に、プレイヤーが家の外に出て、自らの足で世界を歩きまわることで、はじめて楽しむことが出来るリアル・ワールド・ゲームです。



Pokémon GO の遊び方

外に出て
ポケモンを捕まえる



ポケストップで
道具を入手

ジムでバトルや
トレーニング



被災4県との連携

- 被災地の観光促進との関係では、今年8月、岩手・宮城・福島・熊本という被災4県との連携を発表しました。
- 具体的には、ポケモンを捕まえる道具などを入手できる「ポケストップ」や、ポケモン同士がバトルする「ジム」を新たに設けるイベントの開催など想定しています。

公認イベント "Explore Miyagi"

- 11月12日、宮城県石巻市で「ポケストップ」や「ジム」の候補地を申請したり、捕まえたポケモンの重さなどを競ったりするイベントを開催予定です。
- その中で、石巻市、東松島市、女川町、南三陸町の4市町内を巡り、ポケストップの候補地点を探すバスツアーも開催される予定です。

Ingress の経験

実はこれまでも、ナイアンティックで提供していたゲーム「Ingress」で、被災地を含む日本の各地方自治体と連携してきた経験があります。



被災地でのイベント

- 世界各都市で同時開催される公式イベントを、地方自治体、地域の Ingress ユーザーコミュニティ、ナイアンティックの 3 者で連携して運営しており、毎回 5,000 人前後の参加者を集めています。
- 2015 年 6 月に開催された東北のイベントでは、2 日間でのべ約 6,800 人以上が参加したほか、2016 年 4 月に被災地で行ったイベントでも約 1,700 名が参加し、約 45,000 以上ものポータルが申請されました。

インバウンド推進

なお、インバウンド推進という意味では、国外から来日してIngressの公式イベントに参加するプレイヤーも存在します。



2015年のイベントでは、宮城県に、台湾・香港などからプレイヤーが来日

被災地の観光促進に向けて

Ingressで培ってきた知見をもとに、Pokémon GOでも地域の活性化や観光の促進に役立てていけるよう、積極的に活動を続けたいと考えています。